

瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2019.10.31 時点)

分類	保管場所	保管方法	エリア境界 空間線量率 (mSv/h)	保管量	前回集約からの増減 ^{※1} (2019.8.30 - 2019.9.30)	変動 ^{※2} 理由	エリア 占有率	保管量 ^{※3} ／保管容量 (割合)	トピックス	
瓦礫類	屋外集積 (0.1mSv/h以下)	B	屋外集積	0.01	5,300	0	m ³ —	100 %	202100 / 252700 (80%)	・フランジタンク解体片 2019年10月末時点でコンテナ971基保管。 エリアP1 コンテナ数：634基 (2015年6月15日～) エリアAAコンテナ数：337基 (2018年3月15日～)
		C	屋外集積	0.01未満	63,100	+100	m ³ ①④	100 %		
		F2	屋外集積	0.01未満	6,400	0	m ³ —	85 %		
		J	屋外集積	0.01	6,200	0	m ³ —	78 %		
		N	屋外集積	0.01未満	9,600	0	m ³ —	96 %		
		O	屋外集積	0.01未満	43,300	+500	m ³ ①③④	84 %		
		P1	屋外集積	0.01未満	51,400	+200	m ³ ①②③⑤	80 %		
		U	屋外集積	0.01未満	700	0	m ³ —	100 %		
		V	屋外集積	0.01	5,000	0	m ³ —	83 %		
	AA	屋外集積	0.01未満	11,100	+400	m ³ ①⑤	31 %	39800 / 71000 (56%)	・エリアWでの車両解体（プレス等）完了。(2018年1月)	
	シート養生 (0.1～1mSv/h)	D	シート養生	0.01未満	2,600	0	m ³ —			58 %
		E1	シート養生	0.02	14,200	0	m ³ —			89 %
		P2	シート養生	0.01	5,700	0	m ³ —			63 %
		W	シート養生	0.03	9,400	+600	m ³ ①②			32 %
	覆土式一時保管施設、 仮設保管設備、容器 (1～30mSv/h)	X	シート養生	0.01	7,900	0	m ³ —	65 %	18000 / 31700 (57%)	・主な瓦礫類は、1～3号機工事等で発生した瓦礫類。 ・覆土式4槽の受入開始に伴い、保管容量（4,000m3）増加。 (2018年5月)
		L	覆土式一時保管施設	0.01未満	16,000	0	m ³ —	100 %		
		A	仮設保管設備	0.14	800	-100	m ³ ⑦	11 %		
		E2	容器 ^{※4}	0.01	600	0	m ³ —	31 %		
		F1	容器	0.01未満	600	0	m ³ —	99 %		
	固体廃棄物貯蔵庫	Q	容器	0.04	0	0	m ³ —	0 %	18900 / 45600 (41%)	・主な瓦礫類は、1～3号機工事等で発生した瓦礫類。 ・固体廃棄物貯蔵庫9棟の運用開始に伴い、保管容量（33,600m3）増加。 (2018年2月)
		固体廃棄物貯蔵庫	容器 ^{※4}	0.01	18,900	+900	m ³ ①②③⑦	41 %		
合計（ガレキ）				278,900	m ³ +2,700	m ³ —	70 %			
伐採木	屋外集積 (幹・根・枝・葉)	G	屋外集積	0.01未満	25,300	微増	m ³ ⑧	63 %	96800 / 134000 (72%)	
		H	屋外集積	0.01未満	31,700	0	m ³ —	74 %		
		M	屋外集積	0.01未満	39,600	0	m ³ —	88 %		
		V	屋外集積	0.01	100	0	m ³ —	2 %		
	一時保管槽 (枝・葉)	G	伐採木一時保管槽	0.01未満	26,200	0	m ³ —	88 %	37300 / 41600 (90%)	
T		伐採木一時保管槽	0.01未満	11,100	0	m ³ —	94 %			
合計（伐採木）				134,100	m ³ 微増	m ³ —	76 %			
保護衣	屋外集積	容器	0.03	52,600	m ³ -2,300	m ³ ⑨	77 %	52600 / 68300 (77%)	・使用済保護衣等焼却量 6232t (2019年10月末累積) ・焼却灰(プラスチック含む)のドラム缶数 1509本 (2019年10月末累積)	
合計（使用済保護衣等）				52,600	m ³ -2,300	m ³ —	77 %			

※1 100m³未満を端数処理しており、微増・微減とは100m³未満の増減を示す。

※2 主な変動理由：①タンク関連工事 ②1～4号機建屋周辺瓦礫撤去関連工事 ③構内一般廃棄物 ④敷地造成関連工事 ⑤フランジタンク除染作業
⑥エリア整理のための移動（M→W1） ⑦エリア整理のための移動（A→固体庫） ⑧伐採木受入 ⑨焼却運転

※3 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。

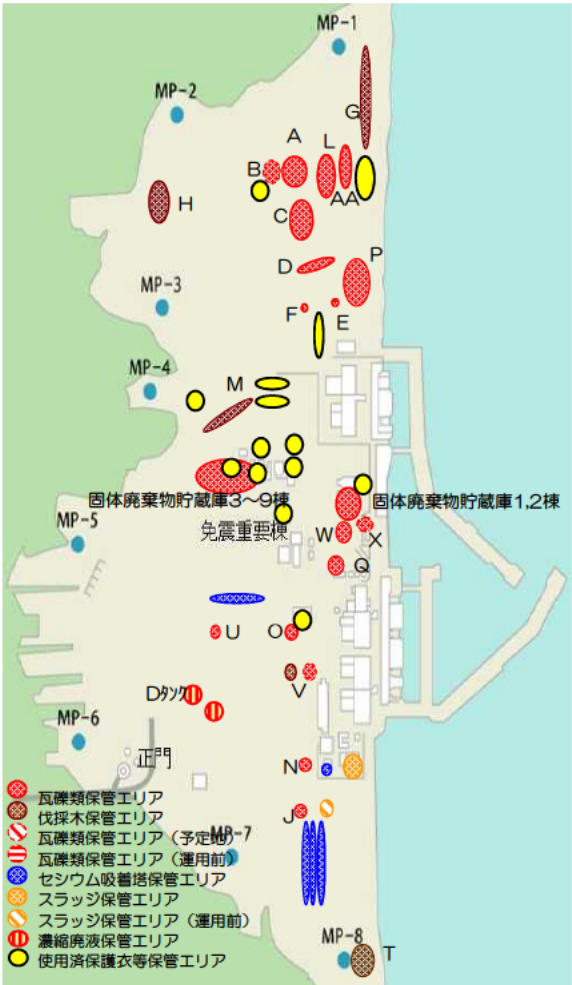
※4 水処理二次廃棄物（小型フィルタ等）を含む。

水処理二次廃棄物の管理状況(2019.11.7時点)

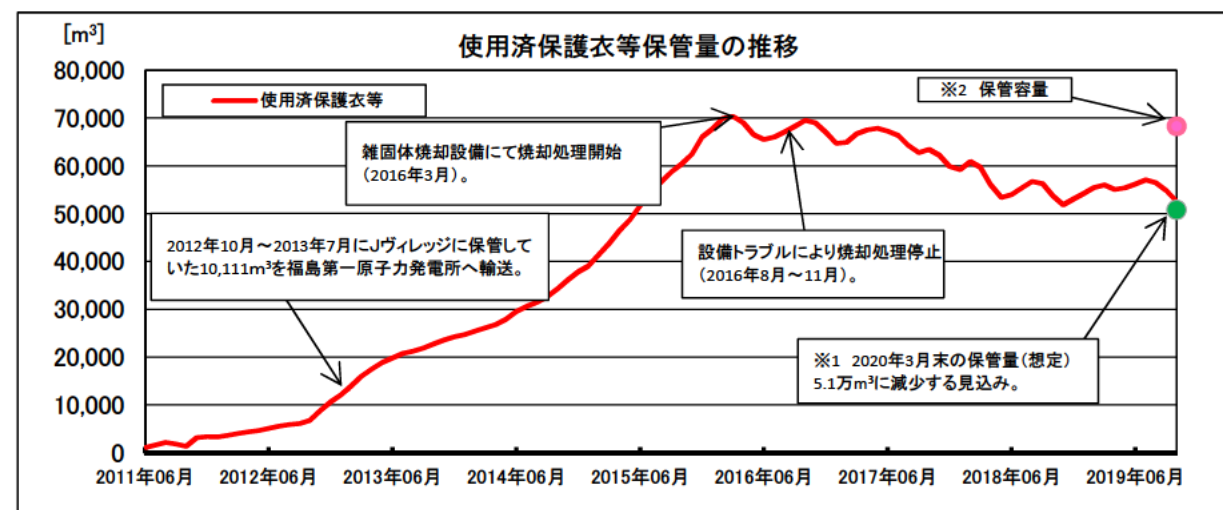
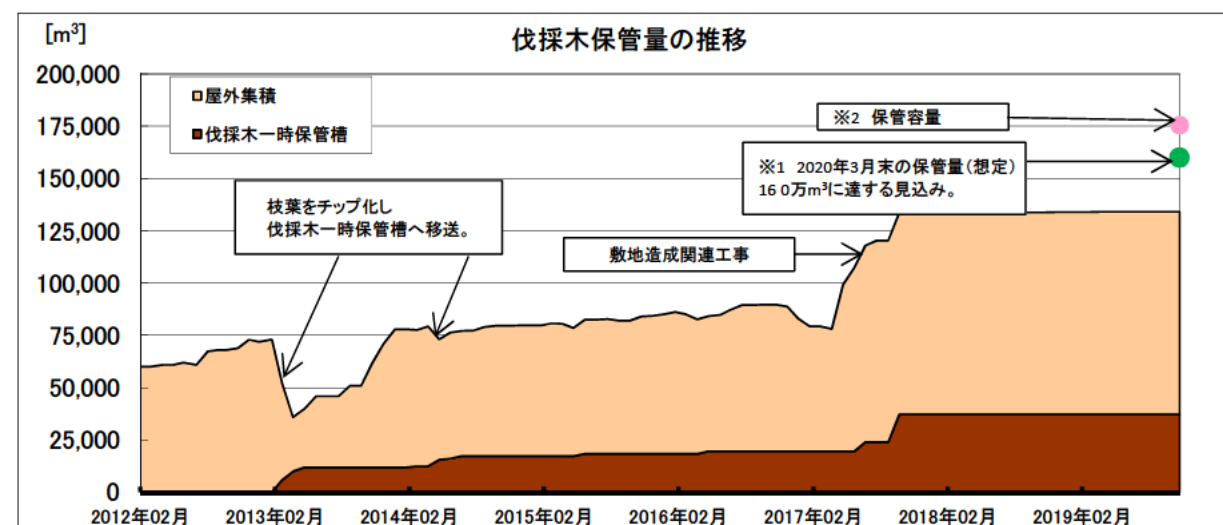
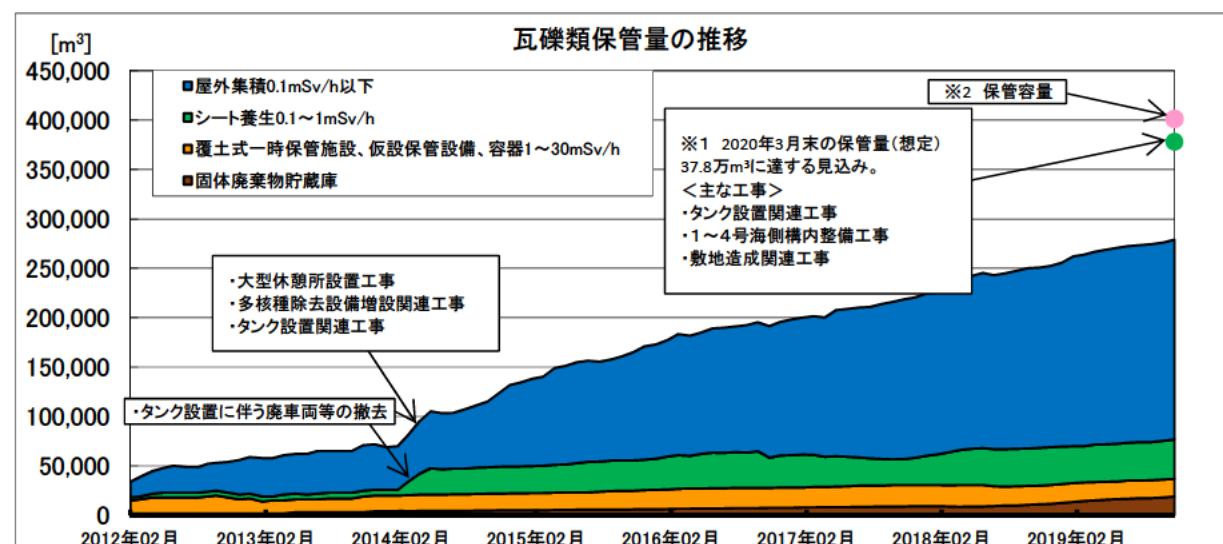
分類	保管場所	種類	保管量		前回集約からの増減 (2019.9.5 - 2019.10.3)		保管量／保管容量 (割合)	トピックス	
水処理二次廃棄物	使用済吸着塔保管施設	セシウム吸着装置使用済ベッセル		779	本	0	本	4538 / 6372 (71%)	・ 吸着塔一時保管施設の増容量が認可（2015年12月14日） ・ 使用前検査完了（2017年5月26日）に伴う保管容量増（第四施設架台129塔分）
		第二セシウム吸着装置使用済ベッセル		224	本	+2	本		
		多核種除去設備等保管容器	既設	1,660 ^{※1}	基	+16	基		
			増設	1,582 ^{※2}	基	+26	基		
		高性能多核種除去設備使用済ベッセル	高性能	74	本	0	本		
		多核種除去設備処理カラム	既設	11	塔	0	塔		
		モバイル式処理装置等使用済ベッセル及びフィルタ類		208	本	+1	本		
	廃スラッジ貯蔵施設	廃スラッジ	597	m ³	0	m ³	597 / 700 (85%)	・ 除染装置の運転計画は無く、新たに廃棄物が増える見込みは無い。 ・ 準備が整い次第、除染装置の廃止について実施計画の変更申請を行う。	
	濃縮廃液タンク	濃縮廃液	9,357	m ³	-23	m ³	9357 / 10300 (91%)	・ タンク水位の変動は、計器精度±1%の誤差範囲内。（現場パトロール異常なし） ・ 水位計0%以上の保管量：9257 [m] タンク底部～水位計の保管量 (DS)：約100[m]	

※1：データ集計の間違い修正により、基数を訂正。【正】1,660基 【誤】1,643基 (2020.3.4)

※2：データ集計の間違い修正により、基数を訂正。【正】1,582基 【誤】1,599基 (2020.3.4)



瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2019.10.31 時点)



※1 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管量(想定)は、実施計画(2019年1月28日認可)の予測値を示す。
 ※2 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管容量は、運用上の上限を示す。

水処理二次廃棄物の管理状況(2019.11.7時点)

